

乙訓医師会から健康教室

Otokuni Medical Association

「親知らず」大丈夫ですか？

「親知らず」とは智

歯(ちし)のことで一般

的に上下左右4本ありま

す。口の中を見て分かる

場合と歯茎で隠れて分か

らない場合があります。

基本的には一番奥の歯

で、鏡によるご自身での

確認が難しい場所を生え

ています。

この「親知らず」が

原因で症状が現れた場

合、治療の必要性が出て

きますが、症状が無く病

気が存在することも有り

ます。トラブルで最も代

表的なものは「智歯周囲

炎」です。周りの歯茎が

大きく腫れて、時には周

囲の人にも分かるくらい

に顔が腫れあがったり、

口が開け難くなったりし

ます。これは、「親知ら

ず」とその周囲の歯磨き

不足が原因で、歯茎が細

菌感染し炎症が広がるこ

とで起こります。

しかし奥のこの歯まで

しっかりと歯磨きをする

というのなかなか難し

く、不潔になり炎症が起

きます。そうなれば治療

が必要となりお薬で腫れ

や痛みを和らげたり、必

要があれば抜歯も考えな

ければなりません。しか

し、「親知らず」だから

と言って必ずしも抜歯し

なければならぬという

ことではありません。し

っかりと歯磨きが出来て

いて噛み合わせに役立

ち、将来の治療計画にお

いて利用できそうであれ

ば抜歯の必要はありません。

もし「親知らず」を含め

その周囲を100%磨け

ているならばこの様な

トラブルは起きないはず

です。しかし実際にはし

っかりと磨けていないこ

とが多いのです。特に多

いのが傾いていたり、半

分だけ生えている様な状

況や大きな虫歯になって

いる場合は更にやっかい

で、「親知らずの抜歯」

という治療の可能性が出

てくるのです。

抜歯することで全てが

解決するのであるなら抜

歯に踏み切るのもいいで

しょう。磨きにくい「親

知らず」を抜かなかつた

ため、その隣の大切な奥

歯が虫歯などになってし

まったということもよく

見受けられます。「親知

らず」の抜歯が全て最善

の方法とは言いません

が、一生大切に使うて

いきたい周りの歯に悪影

響を与え、いつまた腫れ

現状の正しい理解大切

出すか分からないような

「親知らず」と一緒に骨

えながら生活をしていく

のも大変です。

症状が無い今から歯科

医院に行きレントゲンを

撮影し、現状を正確に理

解することは大切です。

そして歯科医師から今後

の治療計画など説明を聞

き、いろいろ話し合っ

てみてはいかがでしょう

か。歯をしっかりと磨くこ

とはもちろんのこと、症

状が出る前に定期的に歯

科医院を受診し、こまめ

にメンテナンスをしてい

くことが重要です。

今まで以上に気を遣っ

てお口の健康管理をし、

毎日美味しく楽しくお食

事が出来るとうことは

大切なことですね。「親

知らず」大丈夫ですか？

(公昭)